

Q3

「ママ、おはし(がない)」「コップ(取って)!」など、言葉が短い息子。
「ママはお箸じゃないよ! “お箸持ってきて”って言いなさい」と言っているのですが……
子供が正しい言葉を使うようになる方法が知りたいです。

私たちも急いでいるとうっかり省略言葉を使ってしまうことがあります。周りの大人が正しい言葉遣いをする気をつけなければなりませんね。園では、「おはし」「コップ」では重々かず、「何?」と続きを促し、最後まで言わないと他の人に伝わらないということを根気強く指導しています。

5歳の女の子です。「さ」行が「ちゃ・ち・ちゅ・ちえ・ちょ」になってしまいます。そのうち正しく言えるようになるのでしょうか。または何かアプローチしたほうが良いのでしょうか。

両親のどちらかが小さい頃そうだったというケースも結構あります。遺伝もあるようです。個人差があるので、遅くともそのうち正しく発音できるようになると思いますが、保護者が気にしている場合は、小学校併設の「言葉の教室」や専門医受診をお薦めしています。

Q5

子どもに注意をすると、何も言わず黙ってしまいます。先生など大人だけでなくお友達にも同じように、自分の気持ちや意見がちゃんと言えないまま育ってしまうのではと心配です。

注意されたとき、反省し「ごめんなさい」が言える子と押し黙ってしまう子がいます。只、何が悪かったのかわからずに注意され、何も言えないのは心配ですね。同じ注意でもその子によって、威圧的と受け止めてしまう子もいます。園では、繊細な性格の子には、注意の仕方を変え論すように話しています。お子さんが、先生やお友だちにうまく伝えられないときは、代弁してあげてもいいので、うやむやにせず少しずつ自分で伝えられるよう導いてあげましょう。

子育てのお悩み解決します!



このコーナーでは、園生活や子育ての悩みや疑問に、現役の幼稚園の先生がアドバイスしてくれます! 日頃感じているさまざま不安や疑問をお寄せください。採用させていただいた方には500円分の図書カードをお送りします。

詳しくは32ページをご覧ください。



おしゃべせんせい

このコーナーでは、キッズママからの子育てについての悩みや悩みについて、幼稚園の先生にアドバイスをしていただいています。育児のプロとしての信念に基づくアドバイスは厳しく、そして愛にあふれています。お悩み解決にぜひお役立てください。

今回お話をうかがった先生

学校法人さつき学園 認定こども園さつき幼稚園
園長代理 田中 真由美 先生



前列・右端の方が田中先生です



教育方針

緑いっぱい 心も身体も すこやかに

幼稚園の特徴

本園は十和田市のほぼ中央の閑静な住宅地にあり、アーチがシンボルの園舎と広々とした園庭、コリドールの大型船エクセルシア号が活発な遊び場や憩いの場となっています。

幼児は話し言葉がほぼ完成され、語りが豊かになっていく頃です。そんな幼児期の「言葉」について、読者のママからの悩みに現役の先生にお答えいただきました。

Q1

娘が「ばか」「うんち」など汚い言葉をよく使うようになりました。聞いていて私もとても嫌ですし、やめさせたいのですが良い方法はありますか?

TV等の影響ですね。いつの時代も「ばか・うんち」は子ども達が喜んで使う言葉なので、周りが笑うのが楽しくて使うのだと思います。園では、過乗車に反応するとわざと喜んで使うので、注意しても汚い言葉で話したら知らないふりをします。本人は軽い気持ちで発言していると思うが、この機会に言われたときの相手の気持ちについて娘さんと話してはいかがでしょうか。



年長の女の子です。お友だちに対してずけずけものを言ったり、ストレートな表現が多く、威圧的で怖いイメージを持たれています。きつい言葉遣いについて何か良いアドバイスはありませんか?

Q2

年長さんくらいになると仲良しグループができ、気心が知れるため、遠慮のない言葉遣いになるのだと思います。お子さんに友達が多いのなら親しい言証拠でもあるので心配いらないと思います。只、初対面の人には怖いイメージを持たれてしまう可能性がありますね。子どもの頃に言葉遣いが原因で友達が離れていくというような経験をするのも大人になるために大事なことで、そのような経験の積み重ねで友達にやさしい話し方をするようになると思います。お母さんがいつも優しい言葉遣いをしていれば、時間はかかるけど大丈夫です。

